

有元容子

作品の周辺 2008年 有元容子展 ―島々を巡る風―

2008年8月30日より9月4日まで愛媛県松山市松山三越特設会場において展覧会を開催した。

今回の作品は、私が愛媛県出身であるということから、瀬戸内海の島々および四国山地の山を中心に、ほぼ三年に亘り取材を重ねた作品の中から、日本画を約40点、ドローイングを約30点出品した。また同時に陶芸作品についても、100点余りの作品を制作し展示することが出来た。

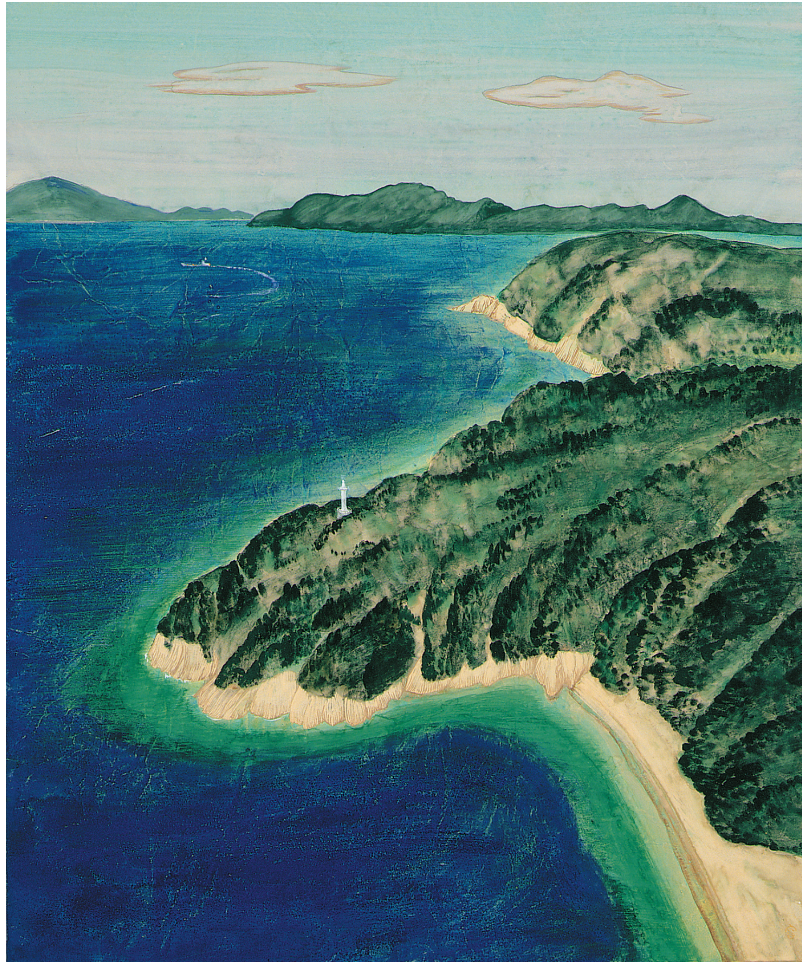
私は瀬戸内海の小島に生まれ育ったので、瀬戸内風景には大変懐かしいものがあるが、現在までずっと長く東京に在住し、離れていた為、ふるさとの風景を描く機会がなかったというのが実状である。この機会を得て春夏秋冬四季折々の瀬戸内海や四国山地をくまなく描きたかったのだが、まだまだ時間が足りなかったと感じている。

今回は特に愛媛県今治市から対岸の広島県尾道までの「しまなみ街道」を行き途中各島々での取材を重ねて作品としたものが主である。

瀬戸内海は、海流が速く且つその流れを見極めるのが至難の業であったために、その昔村上水軍が隆盛を極めた時期もあり、水軍ゆかりの島が多い。ふとした入り江に水軍の根城跡を見たのも取材の余録であった。



展覧会風景と陶芸作品



1 透き通る海 20F



2 浮かぶ雲 10F



3 近づく雲 6F



4 蜜柑の島 20F



5 秘密の島 6P



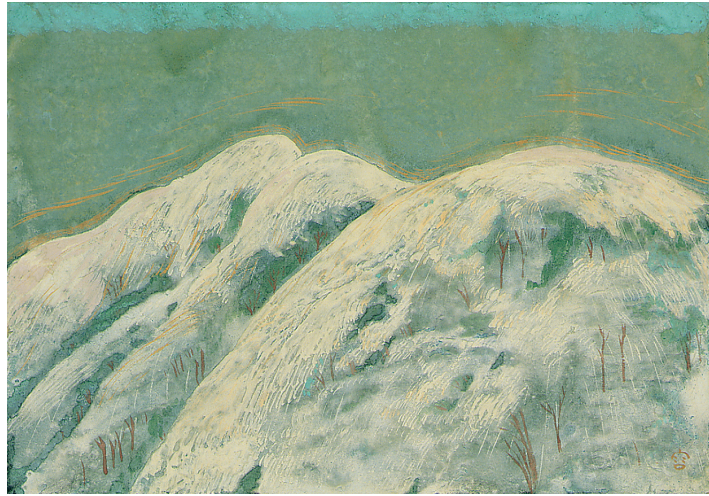
6 うり OF



7 故郷の山に OF



8 はやと瓜 OF



9 季節は過ぎて 3P



10 春 SM



11 なだらかな山 SM

© yoko arimoto